

平成27年度東金市外三市町環境クリーンセンター焼却灰等の放射性物質濃度測定結果

東金市外三市町環境クリーンセンターでは放射性物質汚染対処特措法に基づき焼却灰等の放射性物質濃度測定を実施しており、下記の通り全て埋立基準を満足しております。

測定機関 株式会社エヌ・イー サポート
 測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省 平成25年3月)
 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー(文部科学省 平成4年)
 使用測定機 キャンベラ社製 ゲルマニウム半導体検出器(GC2018)

平成28年3月現在

測定対象	試料採取日	測定値(ベクレル/kg)		
		放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
焼却灰	4月28日	10	32	42
	5月22日	不検出	19	19
	6月17日	不検出	不検出	不検出
	7月13日	不検出	16	16
	8月13日	不検出	13	13
	9月15日	不検出	15	15
	10月5日	不検出	11	11
	11月16日	不検出	18	18
	12月10日	不検出	15	15
	1月15日	不検出	不検出	不検出
	2月15日	不検出	不検出	不検出
	3月10日	不検出	不検出	不検出
	焼却飛灰	4月28日	35	130
5月22日		42	160	202
6月17日		20	68	88
7月13日		24	100	124
8月13日		22	100	122
9月15日		19	76	95
10月5日		22	94	116
11月16日		24	90	114
12月10日		21	86	107
1月15日		18	84	102
2月15日		15	73	88
3月10日		14	62	76
溶融スラグ		6月11日	不検出	11
	3月5日	不検出	不検出	不検出
溶融飛灰	6月11日	150	630	780
	3月5日	84	400	484

〈備考〉

焼却灰とは、ごみを燃やした燃えがらのことで焼却炉の底から排出される灰のことです。
 焼却飛灰とは、ろ過式集じん器で集められた排ガスに含まれている細かなちり(ばいじん)のことです。
 溶融スラグとは、焼却灰を高温で溶かし、冷やし・固めてできるガラス状の物質のことです。

〈基準値等〉

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則(平成23年12月14日環境省令第33号)」に定められた基準	指定廃棄物の指定基準(焼却灰等の埋立基準)	セシウム134とセシウム137の合計	8,000	ベクレル/kg
	事業場の周辺の大気中の濃度限界	セシウム134	20	ベクレル/m ³
		セシウム137	30	
	事業場及び最終処分場の周辺の公共の水域の水中の濃度限界	セシウム134	60	ベクレル/l
セシウム137		90		